



細やかな対応のできる薬剤課スタッフ達

## 目次

院内調剤だから、早くてきめ細かい対応が可能 P.1

… スムーズな調剤とわかりやすい説明

…ジェネリック医薬品を積極的に導入！

インフルエンザ予防接種を開始しました P.2

… 薬剤課に新入職員が入りました(ご紹介)

… インフルエンザ予防接種の受付とかからないための方法

## 院内調剤だから、早くてきめ細かい対応が可能

## スムーズな調剤とわかりやすい説明

医薬分業が一般的となり「院外処方せん」をもらい調剤薬局に行って薬を受け取ることが多くなりましたが、当院では病院内の薬局でお渡しする形にして患者さまの利便性を図っています。

メリットとしては、移動がなく会計が一度で済み、また、調剤薬局で薬をもらう場合より「処方料」や「調剤料」などの患者さまの負担金も少なくて済みます。

■内服薬 6種類 14日分の患者負担(3割負担)の例  
(処方調剤技術料などの対比)

調剤薬局の場合	病院内薬局の場合
・処方箋発行 204円	・処方料 126円
・調剤料 330円	・調剤料 51円
・情報料等 135円	・情報料等 60円
合 計 669円	合 計 237円

**病院内薬局が▲432円お得です。**

(2011年9月現在の診療報酬点数表にて試算)

当院では「オーダリングシステム」を取り入れていますので、医師から処方情報が薬局に届き、直ぐに調剤が開始できるため、少ない待ち時間でお薬のお渡しが可能です。また、お薬をお渡しする際には、調剤薬局と同じく、ご本人に説明書を使って内容をご説明し、お薬手帳をお持ちの方には、手帳への記録も行うなど細かいサービスを心がけています。

## ジェネリック医薬品を積極的に導入！

病院外の調剤薬局では、処方した医師が認めた場合、患者さまのご希望により、「院外処方せん」のお薬を、同じ効果で価格の安い「ジェネリック医薬品」へ変更できるようになりました。当院でも、積極的にジェネリック医薬品を採用して患者さまのご負担の軽減に努めています。

もし、当院で採用のないお薬を必要とする場合は、「院外処方せん」を発行することが出来、「どちらの病院の処方せんでも受け付けます」という調剤薬局で調剤をしてもらって下さい。一般に「院外処方せん」は、処方された日を含め有効期限が4日なので、もう少し長い期間が必要な方は、当院での処方時、医師に有効期限の延長をお申し出になりご相談頂ければと思います。



## 薬剤課に新入職員が入りました



薬剤助手 宮崎 由美(みやざき ゆみ)

6月から薬剤課助手として仲間入りしました。

まだまだ業務に追われる毎日ですが、細腕で頑張りますので、宜しくお願い致します。



薬剤師 増谷 聖香(ますや きよか)

7月から薬剤師として仲間入りしました。

火～金の午前中、調剤と窓口でお薬の対応をしておりますので、宜しくお願い致します。

## 交雄会グループ 愛生会病院



〒079-8340  
旭川市東旭川町共栄223番6  
TEL 0166-34-3838  
FAX 0166-34-2867  
ホームページ [www.aiseikai-hp.jp](http://www.aiseikai-hp.jp)

## インフルエンザワクチン予防接種の予約を受付します。

今年もインフルエンザのシーズンが近づいてまいりました。

インフルエンザにかからないためには、流行する前にワクチンを接種して予防することが最も有効とされています。ワクチンの効果を考え、11月から12月上旬までの接種をお勧めします。

例年遅くなりますと、ご希望に添えない場合がございますので、当院での接種をご希望の方は、外来看護課(内線 121)まで早めにご予約をお申込みください。

### ■お申込み開始 10月1日から

#### ■接種料金

- 一般の方 2,100円
- 旭川市公費助成  
(平成24年1月31日(火)まで)  
65歳以上課税世帯 1,050円  
60歳以上の身障者 1,050円  
65歳以上非課税世帯 免除  
65歳以上生保世帯 免除

(旭川市以外の市町村は料金が異なる場合があります。)

#### ■接種回数 期間中1回(13歳以上)

#### ■持ち物

- (1) 住所・年齢が確認できるもの(健康保険証等)
- (2) 料金が免除になる方はその証明書
- (3) 60歳以上65歳未満で、対象となる方は身体障害者手帳

#### ■愛生会病院入院中の方へ

10月4日に「インフルエンザワクチン接種のご案内とお願い」をご自宅に郵送いたしましたので、ご確認ください。

- お申込みは10月20日までに2階スタッフステーションまでお申込みください。
- 接種料金が発生する方は、毎月10日の入院診療費請求書と共にご請求させていただきます。
- 接種する前に、問診票のご記入をお願いしています。ご面会等の前にスタッフステーションへお寄りください。接種開始は11月からです。

## インフルエンザにかからないためにはどうすればよいですか？

インフルエンザを予防する方法としては、以下があげられます。

### 1) 流行前のワクチン接種

インフルエンザワクチンは、かかった場合の重症化防止に有効と報告されており、わが国でも年々ワクチン接種を受ける方が増加しています。

### 2) 外出後の手洗い等

手洗いは手指など体に付着したインフルエンザウイルスを物理的に除去するために有効な方法であり、インフルエンザに限らず感染予防の基本です。また、外出後の手洗い、うがいは一般的な感染症の予防のためにもおすすめします。

### 3) 適度な湿度の保持

空気が乾燥すると、のどの粘膜の防御機能が低下し、インフルエンザにかかりやすくなります。特に乾燥しやすい室内では加湿器などを使って、適切な湿度(50～60%)を保つことも効果的です。

### 4) 十分な休養とバランスのとれた栄養摂取

体の抵抗力を高めるために、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取を日ごろから心がけましょう。

### 5) 人混みや繁華街への外出を控える

インフルエンザが流行してきたら、特に高齢の方や慢性疾患をお持ちの方、疲労気味、睡眠不足の方は、人混みや繁華街への外出を控えましょう。やむを得ず外出をして人混みに入る可能性がある場合には、ある程度の飛沫等は捕捉されるため、不織布(ふしよふ)製マスクを着用することはひとつの防御策と考えられます。ただし、人混みに入る時間は極力短時間にしましょう。